

松田平田設計本社ビル リノベーション

東京都港区元赤坂1-5-17
中園正樹・宮田多津夫・野口達郎・鍋島正伯

松田平田設計

MHS HEAD OFFICE RENOVATION

1-5-17 Motoakasaka, Minato-ku, Tokyo
NAKASONO Masaki, MIYATA Tatsu, NOGUCHI Tatsu, NABESHIMA Masanori
MHS PLANERS, ARCHITECTS & ENGINEERS



ブレイクスルーを生み出すコミュニケーションポイド

※撮影：日暮雄一

住み続ける建築

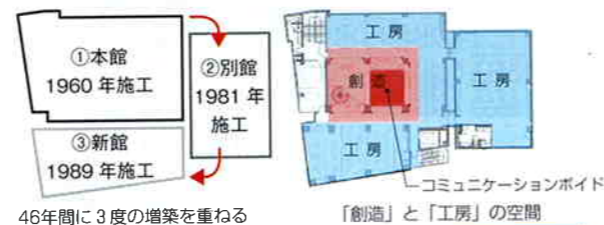
サステイナブルな建築が叫ばれて久しいが、スクラップアンドビルドの発想から抜け出せない現状がある。一方、地球温暖化の兆候は拡大。そこで、解体→新築の手法をとるのではなく、47年間利用した社屋の再利用を前提とし、環境をテーマとしたリノベーションを行なった。あえて、外装はそのままの記憶にとどめ、執務空間に劇的な変化を求め「床を抜く」という手法を用いた。また、CASBEE改修Sランクの認証第1号を目標に内外に多様な仕掛けを考案した。

サステイナブルな3つの仕掛け

昭和35年生まれの本館、昭和56年の別館、平成元年の新館の3棟の集合体ビルの改修である。執務環境の変化と環境配慮から3つの仕掛けを考案した。

1. **中心の床を抜く**：本館の床を抜き、3層の吹抜空間（コミュニケーションポイド）をつくった。トップライトを設け自然の風と光を導くと共に、立体的に動くクリエイティブで快適なオフィス空間とした。
2. **CASBEEで考える**：次世代の建物にふさわしい環境性能とアメニティの向上を図った。自然換気、屋上緑化、断熱性向上、省エネ機器、構造補強、歴史的表現などにより改修によるサステイナブル建築をめざした。
3. **環境配慮の実験**：ヒートアイランドを改善する超軽量（60kg/m²以下）の屋上緑化システムを開発し、環境省「クールルーフ推進事業」の実データ収集にも協力。ロビーの天井放射冷暖房システム・氷蓄熱システムやリサイクル素材も採用した。

主な用途：事務所	Main use: office
敷地面積：605.23 m ²	Site area: 605.23 m ²
建築面積：479.92 m ²	Building area: 479.92 m ²
延床面積：2,794.91 m ²	Total floor area: 2,794.91 m ²



46年間に3度の増築を重ねる

「創造」と「工房」の空間



竣工当時の本館内外観

現在の建物西側外観

※

Architecture for continues living

There is a long continued argument for the Sustainable Architecture, but still there are firm and dominant circumstances of Scrap & Build construction which is the typical struggle for all of us, and is the strong cause of the Global Warming. Considering these common architectural situation, and not for damaging our environment, also for the sake of MHS, we chose the renovation method to reutilize 47 years

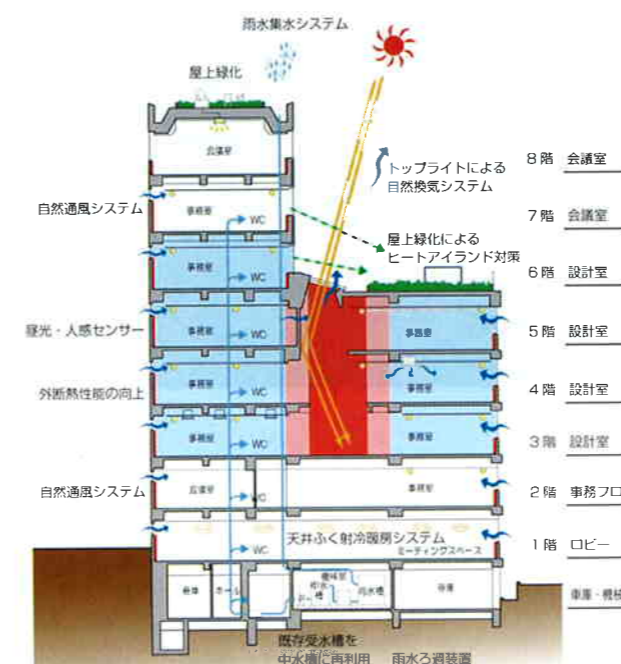
old building structure body, rather than reconstructing everything. Intentionally, the exterior design of the building was maintained to keep our memory, on the other hand, the drastic change for the interior space was created by constructing the Void element in the core space of the main office. Objectively, to achieve the S-rank for CASBEE renovation as a first registered organization, the various detail design devices are adopted in and out of the office.



1階ロビー（天井放射冷暖房システム）



※ コミュニケーションポイド脇の通路



3フロアをつなぐポイドとサステイナブルシステム



自動開閉のトップライト



※ 発想を転換させるミーティングルーム



ヒートアイランド対策の実験の場（60kg/m²の超軽量化）

選評……千葉 学

昭和35年以来、大きく2度にわたる増改築を経て現在に至っている本社ビルの、さらなるリノベーションである。最も古い部分は天井も低く、設備的にも老朽化している。その床を言わば「減築」することで、新しいコミュニケーションの場を創出しようというのである。実際小さな吹き抜けだが、開放的で気持ちがいい。しかしこの計画の最大の魅力は、こうした空間的な試みだけではなく、建築の様々な次元における実験的な試みがなされていることにある。低い天井を逆手にとった空調計画や照明計画、社員教育の意味合いも込めての新しい素材の実験的利用、屋上緑化による断熱とその効果の記録等々、設計事務所だからこそ可能となる試みを随所に見ることができる。こうした様々な試みの総体が、低い天井すらすらどこか住宅的な心地良さを兼ね備えた生き生きとしたオフィスに変わりうるという可能性と、そして建築家としての職能意識の高さとを、同時に強く訴えかけている。

Juror's comment……CHIBA Manabu

This is a further renovation of the company head office, which has undergone two main extensions since 1960. The oldest part has a low ceiling, and is outdated also in terms of utilities. By 'architecturally downsizing' the floor of this area, the idea is apparently to create a new communication space. It is actually a small atrium, but is open and congenial. However, the most appealing aspect of this plan is not simply this spatial experiment, but the range of experimentation in various architectural dimensions. The air-conditioning and lighting design which make a positive out of the low ceiling, the experimental use of new materials that also has an element of staff education, the heat insulation by rooftop green cover and the recording of its effect; trial devices of this kind, possible precisely because the client is an architectural design office, are evident throughout. The totality of these varied experiments suggests the possibility for a vibrant office environment which also has a homelike congeniality even represented by the low ceiling, and at the same time indicates the strong professional awareness of the architect.

Selected Architectural Designs 作品集

2008

作品選集2008
建築雑誌増刊
第123集
第1573号
2008年3月20日発行
定価1,500円(本体1,429円)

発行者 三島 隆
発行所 社団法人
日本建築学会
〒108-8414
東京都港区芝5-26-20
TEL 03-3456-2051
FAX 03-3456-2058
印刷所 株式会社 技報堂
〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
TEL 03-3583-8581

広告代理店 建報社
〒113-0034
東京都文京区湯島2-30-8
TEL 03-3818-1961
三田企画
〒162-0822
東京都新宿区下宮比町2-28-1110
TEL 03-3267-7497
北村孝昭広告事務所
〒454-0877
名古屋市中川区八田町1502
TEL 052-353-1868
デザイン 太田徹也
地図制作 Jmap

「作品選集2008」ならびに「2008年日本建築学会作品選奨」選考報告	北山 恒 (8)
作品選集選考の所感	早川 真・渡辺真理 (13)
作品選奨選考の所感	永田諒和・早川 真 (14)
委員の見解	(15)
■作品選奨	
北海道薬科大学臨床講義棟 C	佐藤 孝・芳川朝彦・東宮英明・芹澤 智 2
武蔵工業大学新建築学科棟 # 4	岩崎堅一 4
成増高等看護学校	富永 譲・鈴木理考 6
AGC モノづくり研修センター	山口広嗣・宮下信顕・田中誓子 8
egota house A	坂本一成・遠藤康一・岡村航太・中井邦夫 10
東洋ロキグローバル本社ビル	平倉章二・山本茂義・小堀哲夫・三谷 徹・戸田知佐 12
坂井市立丸岡南中学校	堀場 弘・工藤和美・新谷真人・長澤 悟 14
京都市本能特別養護老人ホーム・京都市立堀川高等学校本能学舎	設楽貞樹・寺岡宏治・森 雅章・奥 貴人 16
総合地球環境学研究所	岡本 隆・寺岡俊彦・久下武彦 18
龍谷大学大宮図書館	赤木 隆 20
Gravitecture 大阪城	遠藤秀平 22
ハーモニー団地	松永安光 24
■北海道	
大成札幌ビル	橋本緑郎・高橋章夫 26
釧路市こども遊学館	山木優敬・金箱温春 28
函館市中央図書館	佐田祐一 30
海の崖っぶちの SOHO	戸島健二郎 32
■東北	
宮城球場	岡村耕治 34
福島県農業総合センター	清水次郎・軍司 均 36
明治安田生命盛岡支社遠野営業所	桑原裕彰・福永和久・花岡郁哉 38
酒田市公益研修センター多目的ホール	池田靖史・國分昭子 40
■関東	
庇の家	手塚貴晴・手塚由比・池田昌弘 42
国際文化会館保存再生	久米大二郎・鏝坂 徹・小池秋彦・塚谷秀範・阪田誠造・小林正美・今川憲英 44
レイカズン本社ビル	照井信三 46
オーエル東京ビル	萩原 剛・酒向 昇・横堀 伸・大畑勝人 48
身延山久遠寺 参詣者トイレ	水野吉樹・鎌田泰寛・大橋晴恵 50
GSH	ヨコミゾマコト 52
ディーグランセ南青山ハイヴァリー	新居千秋 54
明治安田生命ビル街区再開発	久米大二郎・鏝坂 徹・松尾利彦・萩尾昌則・菅 順二・加部佳治・渡辺信一 56
東邦音楽大学グラントザール	野生司義光 58

東京大学柏キャンパス環境棟	大野秀敏・近宮健一・平山浩樹・真崎英嗣・大原信成・高橋広直・藤本鉄平 60
神奈川工科大学情報学部棟	中江 哲・瀧 正哉 62
前橋の家	田辺芳生 64
イタリア文化会館ビル	植野 糾・徳家 統 66
東京都水道局 研修・開発センター	妹尾賢二・吉田一彦 68
味の素株式会社 食品グローバル開発センター	芝山哲也・三橋啓史・埜 真介 70
クレディセゾン ユビキタス	大江 匡 72
トール	古見演良 74
東京ガス ガスの科学館	亀井忠夫・中村晃子 76
PROJECT UT	山縣 洋 78
新藤両国本社工場	米田浩二・東郷裕幸 80
資生堂美容技術専門学校	芦谷義昭・竹ノ脇喜正・近井 務・和田克明 82
二番坂の家	廣島正明・鈴木重則・阪田恵理 84
箱根ラリック美術館	小菅克己・篠田秀樹・宮田雅章 86
立教大学新座キャンパス再開発計画	富樫 亮・山崎隆盛 88
キヤノン矢向事業所	田中幸男・小川清則・山本幸彦・藤田勝浩 90
道の駅みかも	杉本洋文 92
東京大学工学部2号館	岸田省吾・宮部浩幸・木内俊彦・井上光利 94
関東学院大学 環境共生技術フロンティアセンター	湯澤正信 96
川口市立アートギャラリー「アトリア」	石井真樹 98
杉並公会堂	境 静也・持田誠一 100
山梨県立あけぼの医療福祉センター	室殿一哉・谷口直英 102
甲斐市玉幡公園「Kai・遊・パーク」総合屋内プール	軍司 均 104
Slanting CAVE	山代 悟 106
フクダ電子アリーナ	三井雅貴・増木政彦 108
あしなが心塾レインボーハウス	黒木正郎・宮崎正俊・大倉直子・石川琢也 110
昭和学園 杜楠苑・新体育館	古橋 祐 112
松田平田設計本社ビル リノベーション	中園正樹・宮田多津夫・野口達郎・鍋島正伯 114
■東海	
2005年日本国際博覧会瀬戸愛知県館／あいち海上の森センター	高橋誠一 116
ながしま遊館	福田卓司・福西浩之 118
ITO HOUSE	貫志雅樹 120
海陽中等教育学校	近宮健一・黒野雅好・内山保晴・廣瀬隆志 122
静岡M邸	宮崎 均・石田保夫・畔柳昭雄・飯嶋俊比古 124
中部国際空港旅客ターミナルビル	岡本慶一・赤司博之・鶴田英二・川上寛行・彦根 茂 126
岐阜県警察本部庁舎	若林 亮・河辺伸浩 128
鈴鹿サーキット新グランドスタンド	中屋隆史 130